

特定健診等データ収集システム

エラーコード表(随時提出-被保護者の健診)

令和8年10月版

医療情報基盤・診療報酬審査支払機構

— 目次 —

■ L 1 エラー(エラー番号 L 1 0 0 0 番台).....	6
L 1 1 0 1 (項目名)が記録されていません。.....	6
L 1 2 0 2 (項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値].....	6
L 1 2 0 2 (項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値].....	6
L 1 2 0 3 (項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値].....	7
L 1 3 0 1 交換用基本情報ファイルの種別に誤ったコード値が記録されています。[値].....	7
L 1 4 0 1 交換用基本情報ファイルの実施区分[値]とルートフォルダの実施区分[値]との関連が誤っています。.....	7
L 1 4 0 1 交換用基本情報ファイルの送付元機関[値]とルートフォルダの提出元機関[値]との関連が誤っています。.....	7
L 1 4 0 1 交換用基本情報ファイルの送付先機関[値]とルートフォルダの提出先機関[値]との関連が誤っています。.....	7
L 1 4 0 1 交換用基本情報ファイルのアーカイブ番号[値]とルートフォルダのアーカイブ分割識別番号[値]との関連が誤っています。.....	8
L 1 4 0 1 交換用基本情報ファイルのアーカイブ番号[値]と交換用基本情報ファイルの総アーカイブ数[値]との関連が誤っています。.....	8
L 1 4 0 1 交換用基本情報ファイルのこのアーカイブのファイル数[値]と健診情報ファイルのファイル数の合計[値]との関連が誤っています。.....	8
L 1 6 0 1 ルートフォルダ名が誤っています。[ルートフォルダ名][エラー理由].....	8
L 1 6 0 2 フォルダが存在しません。[ルートフォルダ].....	8
L 1 6 0 8 ルートフォルダ配下に CHECKUP フォルダが存在しません。.....	8
L 1 7 0 2 フォルダ[CHECKUP]配下に健診情報ファイルがありません。.....	9
L 1 7 0 2 交換用基本情報ファイルがありません。.....	9
L 1 7 1 3 ルートフォルダ配下に交換用基本情報ファイル以外のファイルが格納されています。.....	9
L 1 8 0 1 交換用基本情報ファイルの名前空間の定義が誤っています。[値].....	9
L 1 8 0 2 交換用基本情報ファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名].....	10
L 1 8 0 3 データファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。[ファイル名] このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。参考メッセージ[エラーメッセージ].....	10
L 1 8 0 5 ZIP ファイルをシステムに取り込めません。[ファイル名].....	10
L 1 8 0 6 交換用基本情報ファイルのルートタグの記録が誤っています。誤[値]正[値].....	10
L 1 8 0 8 送信途中でファイルが破損した可能性があります。[ファイル名](お手数ですが、ファイルを作成しなおし、再度送信をお願いします。再度送信しても同じエラーが出る場合は、特定健診ヘルプデスクに連絡ください。).....	10

特定健診等データ収集システム

■ L 2 エラー(エラー番号 L 2 0 0 0 番台).....	11
L 2 1 0 1 (項目名)が記録されていません。	11
L 2 1 0 1 データファイルに必須の CDA セクションのコードが記録されていません。	11
L 2 1 0 1 データファイルの(項目名)が記録されていません。	11
L 2 1 0 2 データファイルに実施された検査項目が記録されていません。	12
L 2 1 0 7 (項目名 1)の(項目名 2)が複数記録されています。	12
L 2 1 0 8 未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。[項目名]	12
L 2 1 0 9 記録が認められていない項目が記録されています。[値].....	13
L 2 1 1 1 複数記録が認められていないセクションが記録されています。[値]	13
L 2 1 1 3 ファイル内に(項目名)の項目コードが複数記録されています。	14
L 2 1 1 5 記録が認められていない項目コードが記録されています。[値].....	14
L 2 2 0 2 (項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値].....	15
L 2 2 0 2 (項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]	15
L 2 2 0 2 データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値]	16
L 2 2 0 2 データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]	16
L 2 2 0 3 (項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値].....	16
L 2 2 0 3 データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]	17
L 2 2 0 6 (項目名)に誤った XML データ型が記録されています。誤[値]正[値]	17
L 2 2 0 8 (項目名)に誤った形式の値が記録されています。[値]	17
L 2 2 1 0 (項目名)の基準値に誤った形式の値が記録されています。[値].....	18
L 2 3 0 1 データファイルの報告区分に誤ったコード値が記録されています。[値]	18
L 2 3 0 1 データファイルの健診実施時のプログラム種別に誤ったコード値が記録されています。[値]	18
L 2 4 0 1 データファイルの(項目名)[値]とデータファイルの(項目名)[値]との関連が誤っています。	18
L 2 4 0 8 データファイルのファイル作成日に未来日が記録されています。[値].....	19
L 2 4 1 0 データファイルの(項目名)[値]にファイル作成日[値]より未来日が記録されています。	19
L 2 4 1 4 データファイルの(項目名)において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されていません。又は結果解釈コードの内容が誤っています。	19
L 2 4 1 6 腹囲(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMI が 2 2 未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があります。	20
L 2 4 2 0 データファイルの(項目名)に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。	20
L 2 4 2 1 データファイルの(項目名)において範囲((入力最小値)～(入力最大値))外の記録値に対応するコード値が誤っています。[値]	20
L 2 4 3 2 測定不可能・検査未実施の理由と尿糖又は尿蛋白との関連が誤っています。	21
L 2 7 0 1 データファイルのファイル名が誤っています。[ファイル名][桁数]桁目が(エラー理由)	22
L 2 8 0 1 データファイルの名前空間の定義が誤っています。[値].....	22

特定健診等データ収集システム

L 2 8 0 2	データファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名]	23
L 2 8 0 3	データファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。[ファイル名] このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。参考メッセージ[エラーメッセージ]	23
L 2 8 0 6	(対象ファイル)のルートタグの記録が誤っています。誤[値]正[値].....	23
L 2 8 0 8	フォルダ[CHECKUP]配下に資格情報が重複する健診情報ファイルが存在します。	24
L 2 8 1 1	健診実施年月日が 2024 年 3 月以前の日付が記録されています。	25

特定健診等データ収集システム

(注意)

- 本資料では、特定健診等データ収集システムが健診用データに対して行なった受付チェックに関するエラーコードを記載しています。
- 本資料では、要素名及び項目値は各 XML ファイルのルート要素を除いた上位要素からのフルパス名で記述しています。また、要素名の属性として項目値が設定される場合はフルパス名の後ろに"@value"区切りで属性名を記述しています。

例) 健診情報ファイル内が下記の記述の場合

- ・ ルート要素名は、**ClinicalDocument** となります。
- ・ 生年月日は、**recordTarget/patientRole/patient/birthTime@value** が要素名となり、項目値が**"19551120"**となります。
- ・ 郵便番号は、**recordTarget/patientRole/addr/postalCode** が要素名となり、項目値が**"105-1003"**となります。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:h17-org:v3" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:h17-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  ....
  <recordTarget>
    <patientRole>
      <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" />
      <id extension="1234567" root="1.2.392.200119.6.205" />
      <addr>
        <postalCode>105-1003</postalCode>
      </addr>
      <patient>
        <administrativeGenderCode code="2"/>
        <birthTime value="19551120" />
      </patient>
    </patientRole>
  </recordTarget>
  ....
</ClinicalDocument>
```

- 各種 XML ファイルの内容を確認する場合には、ZIP 形式の提供アーカイブファイルを展開した後、Internet Explorer 等の Web ブラウザで閲覧して下さい。
(メモ帳等で閲覧した場合は要素ごとに改行されず、全てが連結した状態で表示される可能性があります)

■ L 1 エラー(エラー番号 L 1 0 0 0 番台)

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L 1 1 0 1 (項目名)が記録されていません。 (交換用基本情報ファイル)		各項目のチェック可否が「○」の場合、記録必須の要素及び項目値が当該ファイル内に存在しない。(要素名が誤っている場合も同様) ※. 各項目のチェック可否等については、DX 審査支払機構公開の「受付チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照	交換用基本情報ファイルの作成年月日が記録されていません。 ・作成年月日(creationTime)の値がない <annualIndex > <interactionType code="1" /> <creationTime value="" /> </annualIndex>
			交換用基本情報ファイルの送付元機関が記録されていません。 ・送付元機関(sender/id)がない <annualIndex > <interactionType code="1" /> <creationTime value="20240605" /> <sender> </sender> </annualIndex>
L 1 2 0 2 (項目名)が(文字数)文字で記録されていません。 [値] (交換用基本情報ファイル)		各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、固定長項目において項目値が最大文字数を超過して記録されている。又は、最大文字数に満たしていない。 ※. 各項目のチェック可否等については、DX 審査支払機構公開の「受付チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照	交換用基本情報ファイルの作成年月日が 8 文字で記録されていません。 [0605] ・作成年月日(8 桁固定)の値が 4 桁 <creationTime value="0605" />
			交換用基本情報ファイルの実施区分が 1 文字で記録されていません。[03] ・実施区分(1 桁固定)の値が 2 桁 <serviceEventType code="03" />
L 1 2 0 2 (項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。 [値] (交換用基本情報ファイル)		各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、可変長項目において項目値が最大文字数を超過して記録されている。 ※. 各項目のチェック可否等については、DX 審査支払機構公開の「受付チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照	交換用基本情報ファイルのアーカイブ番号が 2 文字以内で記録されていません。[100] ・アーカイブ番号(2 桁可変)の値が 3 桁 <volume number="100" total="1"/>

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)								
L 1 2 0 3	(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。 [値] (交換用基本情報ファイル)	各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード(形式)が誤っている。 ※ 1. 各項目のチェック可否等については、DX 審査支払機構公開の「受付チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照 ※ 2. エラーメッセージの埋め込み文字 <table><tr><th>形式名</th></tr><tr><td>日付</td></tr><tr><td>半角英数</td></tr><tr><td>半角数字</td></tr><tr><td>半角整数</td></tr><tr><td>半角整数(0 以上)</td></tr><tr><td>半角小数</td></tr><tr><td>半角小数(0.0 以上)</td></tr></table>	形式名	日付	半角英数	半角数字	半角整数	半角整数(0 以上)	半角小数	半角小数(0.0 以上)	交換用基本情報ファイルの種別が半角数字形式で記録されていません。 [1] ・ 種別の値が全角文字 <interactionType code=" 1 " /> 交換用基本情報ファイルの作成年月日が日付形式で記録されていません。 [2024Jun5] ・ 作成年月日の値に英字が混在 <creationTime value="2024Jun5" /> 交換用基本情報ファイルの実施区分が半角数字形式で記録されていません。[A] ・ 実施区分の値が英字 <serviceEventType code=" A " />
形式名											
日付											
半角英数											
半角数字											
半角整数											
半角整数(0 以上)											
半角小数											
半角小数(0.0 以上)											
L 1 3 0 1	交換用基本情報ファイルの種別に誤ったコード値が記録されています。[値] (交換用基本情報ファイル)	種別(interactionType@code)に下記のコード値以外の値が記録されている。 1 2 : 閲覧用	交換用基本情報ファイルの種別に誤ったコード値が記録されています。 [19] ・ 種別に"19"(不明な値)が記録 <interactionType code="19" />								
L 1 4 0 1	交換用基本情報ファイルの実施区分[値]とルートフォルダの実施区分[値]との関連が誤っています。 (交換用基本情報ファイル)	実施区分(serviceEventType@code)にルートフォルダ名の実施区分(33 桁目から 1 文字)と異なる値が記録されている。	交換用基本情報ファイルの実施区分[4]とルートフォルダの実施区分[6]との関連が誤っています。 ・ ルートフォルダ名が"12130001_94899010_2024010100001_6"の場合、実施区分に"4"が記録 <serviceEventType code="4" >								
L 1 4 0 1	交換用基本情報ファイルの送付元機関[値]とルートフォルダの提出元機関[値]との関連が誤っています。 (交換用基本情報ファイル)	送付元機関番号(sender/id@extension)にルートフォルダ名の提出元機関番号(1 桁目から 8 文字)と異なる値が記録されている。	交換用基本情報ファイルの送付元機関[12345678]とルートフォルダの提出元機関[12130001]との関連が誤っています。 ・ ルートフォルダ名が"12130001_94899010_2024010100001_6"の場合、送付元機関番号に"12345678"が記録 <sender> <id extension="12345678" root="1.2.392.200119.6.101" /> </sender>								
L 1 4 0 1	交換用基本情報ファイルの送付先機関[値]とルートフォルダの提出先機関[値]との関連が誤っています。 (交換用基本情報ファイル)	送付先機関番号(receiver/id@extension)にルートフォルダ名の提出先機関番号(10 桁目から 8 文字)と異なる値が記録されている。	交換用基本情報ファイルの送付先機関[12345678]とルートフォルダの提出先機関[94899010]との関連が誤っています。 ・ ルートフォルダ名が"12130001_94899010_2024010100001_6"の場合、送付先機関番号に"12345678"が記録 <receiver> <id extension="12345678" root="1.2.392.200119.6.103" /> </receiver>								

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L 1 4 0 1	交換用基本情報ファイルのアーカイブ番号[値]とルートフォルダのアーカイブ分割識別番号[値]との関連が誤っています。 (交換用基本情報ファイル)	アーカイブ番号(volume@number)にルートフォルダ名の分割識別番号(30桁目から2文字)と異なる値が記録されている。	交換用基本情報ファイルのアーカイブ番号[2]とルートフォルダのアーカイブ分割識別番号[1]との関連が誤っています。 ・ルートフォルダ名が"12130001_94899010_2024010100001_6"の場合、アーカイブ番号に"2"が記録 <volume number="2" total="2" />
L 1 4 0 1	交換用基本情報ファイルのアーカイブ番号[値]と交換用基本情報ファイルの総アーカイブ数[値]との関連が誤っています。 (交換用基本情報ファイル)	アーカイブ番号(volume@number)が交換用基本情報ファイルの総アーカイブ数を超過して記録されている。	交換用基本情報ファイルのアーカイブ番号[4]と交換用基本情報ファイルの総アーカイブ数[3]との関連が誤っています。 ・交換用基本情報ファイルのアーカイブ番号が4であり、総アーカイブ数に"3"が記録 <volume number="4" total="3" />
L 1 4 0 1	交換用基本情報ファイルのこのアーカイブのファイル数[値]と健診情報ファイルのファイル数の合計[値]との関連が誤っています。 (交換用基本情報ファイル)	受付チェック完了後の交換用基本情報ファイル内のこのアーカイブのファイル数(totalRecordCount@value)とアーカイブ内にある健診情報ファイルの合計が異なる。	交換用基本情報ファイルのこのアーカイブのファイル数[10]と健診情報ファイルのファイル数の合計[9]との関連が誤っています。 ・アーカイブ内にある健診情報ファイルの合計が9であり、交換用基本情報ファイルのこのアーカイブのファイル数に"10"が記録 <totalRecordCount total="10" value="10" />
L 1 6 0 1	ルートフォルダ名が誤っています。[ルートフォルダ名][エラー理由] (提供用アーカイブファイル)	ルートフォルダ名とアーカイブファイル名が一致しない。	ルートフォルダ名が誤っています。 [06130000_94899010_2024010100001_6][ルートフォルダ名 [06130000_94899010_2024010100001_6]がアーカイブファイル名 [12130001_94899010_2024010100001_6]と一致していません] ・アーカイブファイル名が"12130001_94899010_2024010100001_6"の場合、ルートフォルダ名に"06130000_94899010_2024010100001_6"が記録 ¥06130000_94899010_2024010100001_6
L 1 6 0 2	フォルダが存在しません。[ルートフォルダ] (提供用アーカイブファイル)	ルートフォルダが存在しない。	・ルートフォルダが無い └ aix08_V08.xml 交換用基本情報ファイル └ ¥CHECKUP 健診情報ファイルフォルダ
L 1 6 0 8	ルートフォルダ配下に CHECKUP フォルダが存在しません。 (提供用アーカイブファイル)	ルートフォルダ配下に健診情報ファイルフォルダ(¥CHECKUP)が存在しない。	・ルートフォルダ配下に、"CHECKUP"フォルダが存在しない ¥12130001_94899010_2024010100001_6 └ aix08_V08.xml 交換用基本情報ファイル

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L 1 7 0 2	フォルダ[CHECKUP]配下に健診情報ファイルがありません。 (提供用アーカイブファイル)	CHECKUP フォルダの配下に健診情報ファイルが1件も存在しない。又はファイルが無い。 ※. 健診情報ファイルは“h”で始まる 29 文字のファイル名で、かつ XML 形式のファイル	・ ルートフォルダ配下の“CHECKUP”フォルダに健診情報ファイルが1件も存在しない ¥12130001_94899010_2024010100001_6 └ aix08_V08.xml 交換用基本情報ファイル └ ¥CHECKUP 健診情報ファイルフォルダ
L 1 7 0 2	交換用基本情報ファイルがありません。 (交換用基本情報ファイル)	ルートフォルダの配下に交換用基本情報ファイルが存在しない。 ※. 交換用基本情報ファイルとは“aix”で始まる XML 形式のファイル aix08_V08.xml	・ ルートフォルダ内に交換用基本情報ファイルが存在しない ¥12130001_94899010_2024010100001_6 └ ¥CHECKUP 健診情報ファイルフォルダ
L 1 7 1 3	ルートフォルダ配下に交換用基本情報ファイル以外のファイルが格納されています。 (提供用アーカイブファイル)	ルートフォルダ配下に交換用基本情報ファイル以外のファイルが存在している。 ※ 1. 交換用基本情報ファイルとは“aix”で始まる XML 形式のファイル。 aix08_V08.xml	・ ルートフォルダ内に不明なファイル(aaaa.xml)が存在 ¥12130001_94899010_2024010100001_6 └ aix08_V08.xml 交換用基本情報ファイル └ aaaa.xml 不明なファイル └ ¥CHECKUP 健診情報ファイルフォルダ
L 1 8 0 1	交換用基本情報ファイルの名前空間の定義が誤っています。[値] (交換用基本情報ファイル)	・ 交換用基本情報ファイルの名前空間の定義が誤っている。(下記と内容が異なる) <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?> <annualIndex xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html ./XSD/aix08_V08.xsd"> . . . </annualIndex>	・ スキーマファイルのフォルダ“XSD”及びファイル名の“V”が小文字になっている ./xsd/aix08_v08.xsd ・ スキーマファイルのパスの指定の間のスペース(空白)が漏れている xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html./XSD/aix08_V08.xsd ・ スキーマロケーションの“L”が小文字になっている xsi:schemalocation

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L1802 (交換用基本情報ファイル)	交換用基本情報ファイルがシステムに取り込めません。[ファイル名] (交換用基本情報ファイル)	・ファイル内の文字コードが UTF-8 以外(シフト JIS 等)である。 ・XML 形式のファイルではない。(ファイルが壊れている、ルート要素に対応する要素名(先頭文字が"/"のルート要素名)が無い、又は CSV 形式やテキスト形式等) ・名前空間(ルート要素名など)の定義が誤っている。	交換用基本情報ファイルがシステムに取り込めません。[aix08_V08.xml] 交換用基本情報ファイルがシステムに取り込めません。[aix08_V08.xml] ・"aix08_V08.xml"のルート要素名が大文字になっている <pre><?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?> <ANNUALINDEX xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html ./XSD/aix08_V08.xsd"> . . . </ANNUALINDEX></pre> ・"aix08_V08.xml"が XML として認識できない(ファイルが壊れている)
L1803 (交換用基本情報ファイル)	データファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。[ファイル名] このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。参考メッセージ[エラーメッセージ]	・ファイルがスキーマ定義に則っていない。 ※参考メッセージ [エラーメッセージ] は最大 3 個まで表示する。	・必須のタグが記録されていない ・タグの記録順番が誤っている 別添 特定健診収集-スキーマエラー事例_随時(被保護者の健診)を参照
L1805 (提供用アーカイブファイル)	ZIP ファイルをシステムに取り込めません。[ファイル名] (提供用アーカイブファイル)	受付処理で ZIP ファイルを取り込む際にエラーが発生した。	・ZIP ファイル内に日本語のファイルが存在 <pre>¥12130001_94899010_2024010100001_6 └ 健診情報.xml 規定外のファイル名</pre> ※アーカイブの仕方が適切でない場合(例：フォルダの区切り文字の設定が¥の場合、絶対パスで記述されている場合等)は、オンラインでは送信できないように制御しています。
L1806 (交換用基本情報ファイル)	交換用基本情報ファイルのルートタグの記録が誤っています。誤[値]正[値]	・ルートタグの記録が誤って記録されている。 annualIndex	交換用基本情報ファイルのルートタグの記録が誤っています。誤 [AnnualIndex] 正 [annualIndex]
L1808 (提供用アーカイブファイル)	送信途中でファイルが破損した可能性があります。[ファイル名](お手数ですが、ファイルを作成しなおし、再度送信をお願いします。再度送信しても同じエラーが出る場合は、特定健診ヘルプデスクに連絡ください。)	・送信途中でファイルが破損したため、ファイルをシステムに取り込む際にエラーが発生した。	・ファイルの送信途中でファイルが破損した。 ※注意点：同一ファイル名、ルートフォルダ名のファイルは再送信できない為、再度データを作成しなおして再送信する必要があります。 例 1：同日に再送信する場合(同日分割送信回数を変更) <pre>(一回目) 12130001_94899010_2024010100001_6 →(再送時) 12130001_94899010_2024010100101_6</pre> 例 2：翌日に再送信する場合(提出年月日を変更) <pre>(一回目) 12130001_94899010_2024010100001_6 →(再送時) 12130001_94899010_2024010200001_6</pre>

■ L 2 エラー(エラー番号 L 2 0 0 0 番台)

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L 2 1 0 1 (項目名)が記録されていません。 (健診情報ファイル)		各項目のチェック可否が「○」の場合、記録必須の要素及び項目値が当該ファイル内に存在しない。(要素名が誤っている場合も同様) ※. 各項目のチェック可否等については、DX 審査支払機構公開の「受付チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照	データファイルの男女区分が記録されていません。 データファイルの生年月日が記録されていません。 ・男女区分(administrativeGenderCode)の要素名が誤っている ・生年月日(birthTime)の項目値が記録されていない <pre> <recordTarget> <patientRole> <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" /> <id extension="1234567" root="1.2.392.200119.6.205" /> </id> <postalCode>105-1003</postalCode> </addr> <patient> <adminGenderCode code="2"/> <birthTime value="" /> </patient> </patientRole> </recordTarget> </pre>
L 2 1 0 1 データファイルに必須の CDA セクションのコードが記録されていません。 (健診情報ファイル)		下記のセクションコードが記録された C D A セクション (component/structuredBody/component/section/code@code) が存在しない。 O 1 9 9 0 : 任意追加項目セクション	・任意追加項目セクション(01990)が存在しない <pre> <component> <structuredBody> <component> <section> <code code="01020" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"/> . . . </section> </component> </structuredBody> </component> </pre>
L 2 1 0 1 データファイルの(項目名)が記録されていません。 (健診項目)		必須の項目(JLAC10)コードが記録されていない。又は誤ったコードが記録されている。 ※. 各健診項目のコード有無については、DX 審査支払機構公開の「受付チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照	データファイルの BMI が記録されていません。 ・データファイル内に「BMI」(9N0110000000000001)の項目コードが存在しない

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L 2 1 0 2 (健診項目)	データファイルに実施された検査項目が記録 されていません。	データファイルに記録されている健診項目が全て未実施(negationInd 属性が "true")で記録されている。	・健診の実施項目が全て未実施 <pre> <component> <section> <code code="01990" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" /> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true"> <code code="9N0010000000000001" displayName="身長" /> </observation> </entry> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true"> <code code="9N73600000000000011" displayName="喫煙" /> </observation> </entry> </section> </component> </pre>
L 2 1 0 7 (健診項目)	(項目名 1)の(項目名 2)が複数記録されてい ます。	項目値 1 (身長、体重等)において複数の記録が許されない項目名 2 (検査結果 値、健診項目コード等)が記録されている。 XML データ型が PQ、CD の組み合わせは除く (PQ、CD の出現順番は任意とする)	データファイルの身長の検査結果値が複数記録されています。 ・身長に複数の検査結果値が記録 <pre> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N0010000000000001" /> <value xsi:type="PQ" value="176.6" unit="cm" /> <value xsi:type="PQ" value="176.6" unit="cm" /> </observation> </entry> </pre>
L 2 1 0 8 (健診項目)	未実施の記録が認められていない項目に未実 施が記録されています。[項目名]	・未実施の記録が認められていない項目(メタボリックシンドローム判定等)に 未実施が記録されている。	未実施の記録が認められていない項目に未実施が記録されています。[デ ータファイルのメタボリックシンドローム判定] ・メタボリックシンドローム判定に未実施が記録 <pre> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true" "> <code code="9N50100000000000011"/> <value xsi:type="CD" code="3"/> </observation> </entry> </pre>

特定健診等データ収集システム エラーコード表

[illegible]

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L 2 1 1 3 (健診項目)	ファイル内に(項目名)の項目コードが複数記録されています。	一つのデータファイルに同一の項目コードが重複して存在している。	ファイル内にデータファイルの身長項目コードが複数記録されています。 <pre> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N001000000000001" displayName="身長"/> <value xsi:type="PQ" value="162.3" unit="cm"/> </observation> </entry> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N001000000000001" displayName="身長"/> <value xsi:type="PQ" value="162.3" unit="cm"/> </observation> </entry> </pre>
L 2 1 1 5 (健診項目)	記録が認められていない項目コードが記録されています。[値]	記録不可の項目コードが存在する。 ※. 項目コードの記録可否については、DX 審査支払機構公開の「受付チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照	記録が認められていない項目コードが記録されています。 [3J010000002327101] <pre> <component> <section> <code code="01990" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="追加項目セクション" /> <text /> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="3J010000002327101" displayName="総ビリルビン" /> <value xsi:type="PQ" value="0.8" unit="mg/dL" /> : : </entry> : </section> </component> </pre>

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L 2 2 0 2 (健診情報ファイル)	(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値]	各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、固定長項目において項目値が最大文字数を超過して記録されている。又は、最大文字数に満たしていない。 ※. 各項目のチェック可否等については、DX 審査支払機構公開の「受付チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照	データファイルの郵便番号が8文字で記録されていません。[105-001003] データファイルの生年月日が8文字で記録されていません。[301120] ・郵便番号(postalCode)が10文字で記録(正:8文字固定) ・生年月日(birthTime)が6文字で記録(正:8文字固定) <recordTarget> <patientRole> <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" /> <id extension="1234567" root="1.2.392.200119.6.205" /> <addr> <postalCode>105-001003</postalCode> </addr> <patient> <administrativeGenderCode code="2" /> <birthTime value="301120" /> </patient> </patientRole> </recordTarget>
L 2 2 0 2 (健診情報ファイル)	(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]	各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、可変長項目において項目値が最大文字数を超過して記録されている。 ※. 各項目のチェック可否等については、DX 審査支払機構公開の「受付チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照	データファイルの健診実施機関名称が20文字以内で記録されていません。[トクテイケンシンアイウエオカキケコサシスセソ] ・健診実施機関名称が23文字で記録(正:20文字可変) <documentationOf> <serviceEvent> <code code="990" codeSystem="1.2.392.200119.6.1002" displayName="上記ではない健診(検診)" /> <effectiveTime value="20240410" /> <performer typeCode="PRF"> <assignedEntity> <id nullFlavor="NI" /> <representedOrganization> <id extension="1310100016" root="1.2.392.200119.6.102" /> <name>トクテイケンシンアイウエオカキケコサシスセソ</name> </representedOrganization> </assignedEntity> </performer> </serviceEvent> </documentationOf>

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)					
L 2 2 0 2 (健診項目)	データファイルの(項目名)が(文字数)文字で記録されていません。[値]	最大文字数が指定されている固定長の項目において、最大文字数を超過して記録されている。又は文字数が不足している。 ※. 各健診項目の最大文字数については、DX 審査支払機構公開の「受付チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照	データファイルの既往歴が1文字で記録されていません。[10]					
			・既往歴が2桁で記録(正: 数字1桁固定) <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N056000000000011" displayName="既往歴" /> <value xsi:type="CD" code="10" codeSystem="1.2.392.200119.6.2001" /> </observation> </entry>					
L 2 2 0 2 (健診項目)	データファイルの(項目名)が(文字数)文字以内で記録されていません。[値]	最大文字数が指定されている可変長の項目において、最大文字数を超過している。 ※. 各健診項目の最大文字数については、DX 審査支払機構公開の「受付チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照	データファイルのBMIが4文字以内で記録されていません。[2400.9]					
			・BMIが6桁で記録(正: 数字4桁可変) <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N0110000000000001" displayName="BMI" /> <value xsi:type="PQ" value="2400.9" unit="kg/m2" /> </observation> </entry>					
L 2 2 0 3 (健診情報ファイル)	(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]	各項目のチェック可否が「○」又は「△」の場合、モード(形式)が誤っている。 ※ 1. 各項目のチェック可否等については、DX 審査支払機構公開の「受付チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照 ※ 2. エラーメッセージの埋め込み文字 <table><tr><th>形式名</th></tr><tr><td>日付</td></tr><tr><td>半角英数</td></tr><tr><td>半角数字</td></tr><tr><td>全角文字</td></tr></table>	形式名	日付	半角英数	半角数字	全角文字	データファイルの男女区分が半角数字形式で記録されていません。[F]
			形式名					
日付								
半角英数								
半角数字								
全角文字								
			・男女区分(administrativeGenderCode)が英字で記録(正: 半角数字) <recordTarget> <patientRole> <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" /> <id extension="1234567" root="1.2.392.200119.6.205" /> <addr> <postalCode>105-1003</postalCode> </addr> <patient> <administrativeGenderCode code="F"/> <birthTime value="19551120" /> </patient> </patientRole> </recordTarget>					

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)					
L 2 2 0 3 (健診項目)	データファイルの(項目名)が(形式名)形式で記録されていません。[値]	データ型(属性)に準拠しない項目値が設定されている。 ※ 1. 各健診項目のデータ型(属性)については、DX 審査支払機構公開の「受付 チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照 ※ 2. エラーメッセージの埋め込み文字 <table><tr><th>形式名</th></tr><tr><td>日付</td></tr><tr><td>半角英数</td></tr><tr><td>半角数字</td></tr><tr><td>全角文字</td></tr></table>	形式名	日付	半角英数	半角数字	全角文字	データファイルの身長が半角数字形式で記録されていません。[162cm] ・身長に英字が混在(正:半角数字) <pre><entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N0010000000000001" displayName="身長" /> <value xsi:type="PQ" value="162cm" unit="cm" /> </observation> </entry></pre>
形式名								
日付								
半角英数								
半角数字								
全角文字								
L 2 2 0 6 (健診項目)	(項目名)に誤ったXML データ型が記録されています。誤[値]正[値]	定められたXML データ型(PQ, CD, CO, ST)と異なる値が記録されている。	データファイルの身長に誤ったXML データ型が記録されています。誤[CD] 正[PQ] ・身長のデータ型として PQ が設定されるべきところを CD が記録されて いる <pre><entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N0010000000000001" displayName="身長" /> <value xsi:type="CD" value="150.0" unit="cm" /> </observation> </entry></pre>					
L 2 2 0 8 (健診項目)	(項目名)に誤った形式の値が記録されていま す。[値]	項目値(身長、体重等)に誤った形式でデータが記録されている。 (整数値のみ記録可能な項目に小数値が記録されている、小数点 1 桁まで記録 可能な項目に小数点 2 桁まで記録されている等)	・体重は小数点 1 桁までの記録が許されているが、小数点 2 桁まで記録 されている。 <pre><entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N0060000000000001" /> <value xsi:type="PQ" value="75.25" unit="kg" /> </observation> </entry></pre>					

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L 2 2 1 0 (健診項目)	(項目名)の基準値に誤った形式の値が記録されています。[値]	基準値(referenceRange)に誤った形式でデータが記録されている。 (整数値のみ記録可能な項目に小数値が記録されている、小数点1桁まで記録可能な項目に小数点2桁まで記録されている等) ・基準値の形式は対応する項目値の形式に準拠する	データファイルの体重の基準値に誤った形式の値が記録されています。 [13. 50] ・体重は小数点1桁までの記録が許されているが、小数点2桁まで基準値に記録されている。 <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N00600000000001" /> <value xsi:type="PQ" value="75.2" unit="kg" /> <referenceRange> <observationRange classCode="OBS" moodCode="EVN. CRT"> <value xsi:type="IVL_PQ"> <low value="13.50 unit="kg"/> <high value="80" unit="kg"/> </value> </observationRange> </referenceRange> </observation> </entry>
L 2 3 0 1 (健診情報ファイル)	データファイルの報告区分に誤ったコード値が記録されています。[値]	報告区分(code@code)に下記のコード値以外の値が記録されている。 6 0 : 被保護者の健診情報 6 9 : 提出済み被保護者の健診情報(閲覧用ファイル)の削除依頼	データファイルの報告区分に誤ったコード値が記録されています。[20] ・報告区分に"20"が記録 <code code="20" codeSystem="1.2.392.200119.6.1001" />
L 2 3 0 1 (健診情報ファイル)	データファイルの健診実施時のプログラム種別に誤ったコード値が記録されています。[値]	健診実施時のプログラム種別(documentationOf/serviceEvent/code@code)に下記のコード値以外の値が記録されている。 9 9 0 : 上記ではない健診(検診)	データファイルの健診実施時のプログラム種別に誤ったコード値が記録されています。[100] ・健診実施時のプログラム種別に"100"が記録 <documentationOf> <serviceEvent> <code code="100" codeSystem="1.2.392.200119.6.1002" displayName="上記ではない健診(検診)" />
L 2 4 0 1 (健診項目)	データファイルの(項目名)[値]とデータファイルの(項目名)[値]との関連が誤っています。	関連する項目コードのコード値が"1"(あり)の場合に当該項目コードが記録されていない。又は誤ったコードが記録されている ※. 各健診項目の関連については、DX 審査支払機構公開の「受付チェック仕様_随時データ(被保護者の健診)」を参照	データファイルの既往歴[1]とデータファイルの既往歴(具体的な既往歴)[]との関連が誤っています。 ・「既往歴」(9N056000000000011)のコード値が"1"で「既往歴(具体的な既往歴)」(9N056160400000049)がない

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L2408 (健診情報ファイル)	データファイルのファイル作成日に未来日が記録されています。[値]	ファイル作成日(effectiveTime@value)に未来日付(システム日付の翌日以降の日付)が記録されている。	データファイルのファイル作成日に未来日が記録されています。 [20240801]
			・令和6年6月処理において令和6年8月の日付が記録 <effectiveTime value="20240801" />
L2410 (健診情報ファイル)	データファイルの(項目名)[値]にファイル作成日[値]より未来日が記録されています。	健診実施年月日(effectiveTime@value)にファイル作成日(effectiveTime@value)より未来日付(ファイル作成日の翌日以降の日付)が記録されている。	データファイルの健診実施年月日[20240801]にファイル作成日[20240701]より未来日が記録されています。
			・健診実施年月日の日付がファイル作成日の日付より未来日を記録 <!--ファイル作成日(西暦)--> <effectiveTime value="20240701"/> <!-- 健診実施情報 --> <documentationOf> <serviceEvent> <code code="990" codeSystem="1.2.392.200119.6.1002" displayName="上記ではない健診(検診)"/> <effectiveTime value="20240801"/>
L2414 (健診項目)	データファイルの(項目名)において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されていません。又は結果解釈コードの内容が誤っています。	XMLデータ型がPQかつ基準値(referenceRange)が指定されている項目において、基準値の範囲外で結果解釈コード(interpretationCode)が指定されていない。又は、結果解釈コードの内容が誤って記録されている。 (範囲内: 基準値の下限值 ≤ 記録された値 ≤ 基準値の上限值)	データファイルの収縮期血圧において基準値の範囲外の記録値に対応する有効な結果解釈コードが記録されていません。又は結果解釈コードの内容が誤っています。
			・収縮期血圧が基準値(80~130)以外の値で記録されているが結果解釈コードが記録されていない <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9A75100000000001" displayName="収縮期血圧" /> <value xsi:type="PQ" value="150" unit="mm[Hg]" /> <methodCode code="9A75100000" /> <referenceRange> <observationRange classCode="OBS" moodCode="EVN.CRT"> <value xsi:type="IVL_PQ"> <low value="80" unit="mmHg" /> <high value="130" unit="mmHg" /> </value> </observationRange> </referenceRange> </observation> </entry> ・結果解釈コードに"9"(不明な値)が記録されている。 <interpretationCode code="9" />

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L 2 4 1 6 (健診項目)	腹囲(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があります。	腹囲(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があります。	腹囲(自己申告)のみ未実施以外で記録されている場合はBMIが22未満又は「L」(入力最小値の範囲外)である必要があります
L 2 4 2 0 (健診項目)	データファイルの(項目名)に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。	入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っている。 ※ 検査結果値が入力最少・最大値の範囲外の場合にCDが記録されていない。 ※ 検査結果値にPQが存在しない。 ※ 検査結果値が入力最少・最大値の範囲内の場合にCDが記録されている。	データファイルの身長に対し検査結果値の検査結果データ型の組み合わせが誤っています。 ・身長の検査結果値が入力最少・最大値の範囲外だが、CDが記録されていない。 <pre><observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N001000000000001" displayName="身長" /> <value xsi:type="PQ" value="300.0" unit="cm" /> </observation></pre>
L 2 4 2 1 (健診項目)	データファイルの(項目名)において範囲((入力最小値)～(入力最大値))外の記録値に対応するコード値が誤っています。[値]	入力最小・最大値の範囲が指定されている項目において、範囲外の値に対して記録されているCDの値が誤っている。 ※ 入力最大値以上の場合に、CDに「L」が記録されている。 ※ 入力最小値以下の場合に、CDに「H」が記録されている。	データファイルの身長において範囲(100.0～250.0)外の記録値に対応するコード値が誤っています。[L] ・身長の検査結果値が入力最大値以上だが、CDの値に「H」以外が記録されている。 <pre><observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N001000000000001" displayName="身長" /> <value xsi:type="PQ" value="300.0" unit="cm" /> <value xsi:type="CD" code="L" /> </observation></pre>

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L 2 4 3 2 (健診項目)	測定不可能・検査未実施の理由と尿糖又は尿蛋白との関連が誤っています。	「測定不可能・検査未実施の理由」が未実施又は測定不能以外で存在する場合、以下の条件を満たしていない。 ・「尿糖」、「尿蛋白」それぞれの中に1つ以上項目が存在する、かつ、「尿糖」または「尿蛋白」の中に1つ以上未実施又は測定不能が存在する 「測定不可能・検査未実施の理由」が存在しない場合、以下の条件を満たしていない。 ・「尿糖」の中に1つ以上未実施又は測定不能以外の項目が存在する、かつ、「尿蛋白」の中に1つ以上未実施又は測定不能以外の項目が存在する	測定不可能・検査未実施の理由と尿糖又は尿蛋白との関連が誤っています。 ・「測定不可能・検査未実施の理由」が記録されているが、「尿糖」または「尿蛋白」の中に未実施又は測定不能が存在しない <pre> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="1A02000000019111" displayName="尿糖"/> <value xsi:type="C0" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.2102"/> </observation> </entry> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="1A020000000190111" displayName="尿糖"/> <value xsi:type="C0" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.2102"/> </observation> </entry> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="1A01000000019111" displayName="尿蛋白"/> <value xsi:type="C0" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.2102"/> </observation> </entry> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="1A010000000190111" displayName="尿蛋白"/> <value xsi:type="C0" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.2102"/> </observation> </entry> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N512000000000011" displayName="測定不可能・検査未実施の理由"/> <value xsi:type="C0" code="3" codeSystem="1.2.392.200119.6.24080"/> </observation> </entry> </pre>

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)																														
L 2 7 0 1 (健診情報ファイル)	データファイルのファイル名が誤っています。 [ファイル名][桁数]桁目が(エラー理由)	・ 健診情報ファイルのファイル名が下記の命名規則に準拠していない。 ファイル名： ZnnnnnnnnYYYYMMNNXmmmmmm.xml ①Z：ファイル種別(“h”固定) ②nnnnnnnn：公費負担者番号(8桁の数字) ③YYYY：健診受診年度(西暦4桁) ④MMM：同日分割送信回数 ⑤NN：アーカイブ分割識別番号(2桁の数字(01～99)) ⑥X：実施区分(6：被保護者の健診・保健指導結果の受領分) ⑦mmmmmm：ファイル通番(6桁の数字(000000～999999)) ※. エラーメッセージの埋め込み文字 <table><thead><tr><th>番号</th><th>桁数</th><th>エラー理由</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>29</td><td>半角29桁ではありません</td></tr><tr><td>①</td><td>1</td><td>規定された頭文字(h)ではありません</td></tr><tr><td>②</td><td>2～9</td><td>数字形式ではありません</td></tr><tr><td>③</td><td>10～13</td><td>数字形式ではありません</td></tr><tr><td>④</td><td>14～16</td><td>数字形式ではありません</td></tr><tr><td>⑤</td><td>17～18</td><td>数字形式ではありません</td></tr><tr><td>⑥</td><td>19</td><td>数字形式6ではありません</td></tr><tr><td>⑦</td><td>20～25</td><td>数字形式ではありません</td></tr><tr><td></td><td>26～29</td><td>規定された拡張子(.xml)ではありません</td></tr></tbody></table>	番号	桁数	エラー理由		29	半角29桁ではありません	①	1	規定された頭文字(h)ではありません	②	2～9	数字形式ではありません	③	10～13	数字形式ではありません	④	14～16	数字形式ではありません	⑤	17～18	数字形式ではありません	⑥	19	数字形式6ではありません	⑦	20～25	数字形式ではありません		26～29	規定された拡張子(.xml)ではありません	データファイルのファイル名が誤っています。 [Z121300012020001016000001.xml][1桁目が規定された頭文字(h)ではありません]
			番号	桁数	エラー理由																												
	29	半角29桁ではありません																															
①	1	規定された頭文字(h)ではありません																															
②	2～9	数字形式ではありません																															
③	10～13	数字形式ではありません																															
④	14～16	数字形式ではありません																															
⑤	17～18	数字形式ではありません																															
⑥	19	数字形式6ではありません																															
⑦	20～25	数字形式ではありません																															
	26～29	規定された拡張子(.xml)ではありません																															
			・ ファイル種別が誤っている Z121300012020001016000001.xml																														
L 2 8 0 1 (健診情報ファイル)	データファイルの名前空間の定義が誤っています。[値]	・ データファイルの名前空間の定義が誤っている。(下記と内容が異なる) <?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?> <ClinicalDocument xmlns="urn:h17-org:v3" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="urn:h17-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">	・ スキーマファイルのフォルダ“XSD”及びファイル名の“V”が小文字になっている。 ../xsd/hc08_v08.xsd ・ スキーマファイルのパスの指定の間のスペース(空白)が漏れている。 xsi:schemaLocation="urn:h17-org:v3../XSD/hc08_V08.xsd"> ・ スキーマロケーションの“L”が小文字になっている。 xsi:schemalocation																														

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)				
L 2 8 0 2 (健診情報ファイル)	データファイルがシステムに取り込めません。 [ファイル名]	・ファイル内の文字コードが UTF-8 以外(シフト JIS 等)である。 ・XML 形式のファイルではない。(ファイルが壊れている、ルート要素に対応する要素名(先頭文字が"/"のルート要素名)が無い、又は CSV 形式やテキスト形式等) ・名前空間(ルート要素名など)の定義が誤っている。	データファイルがシステムに取り込めません。 [h121300012020001016000001.xml] ・“h121300012020001016000001.xml”のルート要素名が大文字になっている <pre><?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?> <CLINICALDOCUMENT xmlns="urn:h17-org:v3" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="urn:h17-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd"> . . . </CLINICALDOCUMENT></pre> ・“ h121300012020001016000001.xml ”が XML として認識できない(ファイルが壊れている)				
L 2 8 0 3 (健診情報ファイル)	データファイルのスキーマチェックでエラーが発生しました。 [ファイル名] このエラーを修正するためにはシステム開発者にご相談ください。 参考メッセージ[エラーメッセージ]	・ファイルがスキーマ定義に則っていない。 ※参考メッセージ [エラーメッセージ] は最大 3 個まで表示する。	・必須のタグが記録されていない ・タグの記録順番が誤っている 別添 特定健診収集-スキーマエラー事例_随時(被保護者の健診)を参照				
L 2 8 0 6 (健診情報ファイル)	(対象ファイル)のルートタグの記録が誤っています。 誤[値]正[値]	・ルートタグの記録が誤って記録されている。 <table><tr><td>対象ファイル</td><td>ルートタグ</td></tr><tr><td>健診情報ファイル</td><td>ClinicalDocument</td></tr></table>	対象ファイル	ルートタグ	健診情報ファイル	ClinicalDocument	データファイルのルートタグの記録が誤っています。 誤[clinicalDocument]正[ClinicalDocument]
対象ファイル	ルートタグ						
健診情報ファイル	ClinicalDocument						

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L2808	フォルダ[CHECKUP]配下に資格情報が重複する健診情報ファイルが存在します。 (健診情報ファイル)	・資格情報が重複する健診情報ファイルが存在する。 (下記項目がすべて一致している) ・公費負担者番号 ・受給者番号 ・健診実施年月日 ※1 対象項目について、指定された文字数を超過している場合、該当ファイルに対して重複チェックを行わない ※2 必須項目について、記録されていない場合、重複チェックを行わない	フォルダ[CHECKUP]配下に資格情報が重複する健診情報ファイルが存在します。 資格情報が重複している ① h120000012020001016000001.xml <pre> <!--受診者情報--> <recordTarget> <patientRole> <!-- 公費負担者番号 --> <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" /> <!-- 受給者番号 --> <id extension="1234567" root="1.2.392.200119.6.205" /> ~~~~~ <!--実施日--> <effectiveTime value="20200430" /> <performer typeCode="PRF"/> </pre> ② h120000012020002016000002.xml <pre> <!--受診者情報--> <recordTarget> <patientRole> <!-- 公費負担者番号 --> <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" /> <!-- 受給者番号 --> <id extension="1234567" root="1.2.392.200119.6.205" /> ~~~~~ <!--実施日--> <effectiveTime value="20200430" /> <performer typeCode="PRF"/> </pre>

特定健診等データ収集システム エラーコード表

エラーコード	メッセージ	メッセージの説明	事例(具体的なメッセージと原因など)
L 2 8 1 1	健診実施年月日が 2024 年 3 月以前の日付が記録されています。 (健診情報ファイル)	・ 報告が認められていないファイルが存在する。 ※健診実施年月日が 2023 年度以前のファイルはエラーとする	報告が認められていないファイルが存在します。 ・ 健診実施年月日に 2023 年度以前の日付が記載 <documentationOf> <serviceEvent> <code code="990" codeSystem="1.2.392.200119.6.1002" displayName="上記ではない健診(検診)"/> <effectiveTime value="20180331"/> <performer typeCode="PRF"> <assignedEntity> <id nullFlavor="NI"/> <representedOrganization> <id extension="1310100016" root="1.2.392.200119.6.102"/> <name>新橋第一診療所</name> </representedOrganization> </assignedEntity> </performer> </serviceEvent> </documentationOf>

特定健診等データ収集システム

スキーマチェックのエラー事例（随時提出-被保護者の健診）

令和8年10月版

医療情報基盤・診療報酬審査支払機構

変更履歴

項番	版	変更内容	区分	変更箇所	変更日	備考
1	第 1 版	新規作成	—	—	2024/3/31	
2	第 2 版	組織名称変更対応	修正	以下の文言を置換 ・「社会保険診療報酬支払基金」→「医療情報基盤・診療報酬審査支払機構」	2026/9/30	

— 目次 —

XML ヘッダ情報の記録誤り	4
未実施を表す記録方法の誤り	4
単位コードの記録方法の誤り	4
検査項目リスト説明ブロックの記録誤り	5
ファイル作成日の要素名誤り	5
券面種別の属性名が誤っている	5
基準値の要素名が誤っている	5
測定(項目)値の OID が空文字	6
コード属性なのに value 属性に値が記録されている	6
セクションコードの OID が誤っている	6
methodCode が code の子要素となっている(本来は value 又は interpretationCode の次に出現)	6
observation 要素内の classCode 及び moodCode 属性名が誤っている。また、negationInd の属性値が空白。	7
assignedAuthor 要素内の id 要素の記録方法に誤りがある。	7
健診項目が記録されていない entry 要素が存在する	7
検査結果値、検査結果表示名、XML データ型の記録漏れ	7
検査方法コードに値なし	7
interpretationCode と methodCode の順序誤り	7
performer タグの構成誤り	8
XML ヘッダ情報の記録誤り	8

■事例に関する補足事項

「誤り事例」欄で色付された部分は誤った記録の具体的な箇所を示しております。

「正しい記録」欄では該当箇所の正しい記録内容を色付けして示しております。

	エラー内容	正しい記録	誤り事例
事例 1	XML ヘッダ情報の記録誤り	<pre><?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?> <ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3./XSD/hc08_v08.xsd"></pre> (参考) 9-1B_特定健診情報ファイル(閲覧用)仕様説明書_V1.1. pdf Page7 ※XML ヘッダの基本的な書き方は特定健診情報ファイル仕様説明書を参照してください。 「3」と「.」の間に半角スペースが入ります。	スキーマファイルのフォルダ“XSD”及びファイル名の“V”が小文字になっている。 ../xsd/hc08_v08.xsd ※スキーマのパスを指定するxsdの大文字小文字は格納するフォルダと整合性が取れていればスキーマエラーとはなりません、多様なOSで処理されることを想定し、厳密に大文字で統一してください。 スキーマファイルのパスの指定の間のスペース(空白)が漏れている。 xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3./XSD/hc08_v08.xsd"> スキーマロケーションの“L”が小文字になっている。 xsi:schemalocation
事例 2	未実施を表す記録方法の誤り	<pre><entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true"> <code code="9N056000000000011" displayName="既往歴" /> </observation> </entry></pre>	未実施の場合の値“true”が大文字となっている。 negationInd="TRUE"
事例 3	単位コードの記録方法の誤り	<pre><entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N001000000000001" displayName="身長" /> <value xsi:type="PQ" value="165.0" unit="cm" /> </observation> </entry></pre>	単位コードの値が記録されていない。 unit="" 単位コードを適切に設定するか、または単位コードが不要な場合はunit自体を記録しないでください。

	エラー内容	正しい記録	誤り事例
事例 4	検査項目リスト説明ブロックの記録誤り	(例1 <list>記録ありの例) <pre> <title>任意追加項目セクション</title> <text> <list> <item>身長 176.6 cm</item> <item>体重 77.5 kg</item> <item>BMI 25.5 kg/m2</item> <item>腹囲</item> <item>メタボリックシンドローム判定 予備軍該当</item> </list> </text> </pre> (例2 <list>記録なしの例) <pre> <title>任意追加セクション</title> <text/> </pre>	検査項目リスト(<list>)タグのみ記録され、検査項目(<item>)タグの記録がされていない。 <pre> <text> <list> </list> </text> </pre> 検査項目リストを設定する必要がない場合は<list>タグは記録しないでください。
事例 5	ファイル作成日の要素名誤り	<pre><effectiveTime value="20200401" /></pre>	大文字小文字の誤り <pre><effectivetime value="20200401" /></pre>
事例 6	券面種別の属性名が誤っている	<pre><functionCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" /></pre>	大文字小文字の誤り <pre><functionCode Code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" /></pre>
事例 7	基準値の要素名が誤っている	<pre> - <referenceRange> <observationRange classCode="OBS" moodCode="EVN.CRT"> ~ (中略) ~ </observationRange> </referenceRange> </pre>	observationRange となるべきところが observation となっている。 <pre> <referenceRange> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN.CRT"> ~ (中略) ~ </observation> </referenceRange> </pre>

	エラー内容	正しい記録	誤り事例
事例 8	測定(項目)値の OID が空文字	<pre> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN.CRT"> <code code="9N711000000000011" /> <value xsi:type="CD" code="1" /> </observation> 又は <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N711000000000011" /> <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.2003" /> </observation> </pre>	<pre> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N711000000000011" /> <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="" /> </observation> </pre>
事例 9	コード属性なのに value 属性に値が記録されている	<pre> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false"> <code code="9N141000000000011" /> <value xsi:type="CD" code="2" /> </observation> </pre>	<pre> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false"> <code code="9N141000000000011" /> <value xsi:type="CD" value="2" /> </observation> </pre>
事例 10	セクションコードの OID が誤っている	<pre> <section> <code code="01990" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="任意追加項目セクション" /> <title>任意追加項目セクション</title> </section> </pre>	<pre> <section> <code code="01990" codeSystem="1.2.392.200119.6.01010" displayName="任意追加項目セクション" /> <title>任意追加項目セクション</title> </section> </pre>
事例 11	methodCode が code の子要素となっている(本来は value または interpretationCode の次に出現)	<pre> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="1A010000000190111" displayName="尿蛋白" /> <value xsi:type="CD" code="1" /> <methodCode code="901" codeSystem="1.2.392.200119.6.1007" /> </observation> </entry> </pre>	<pre> <entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="1A010000000190111" displayName="尿蛋白"> <methodCode code="901" codeSystem="1.2.392.200119.6.1007" /> </code> <value xsi:type="CD" code="1" /> </observation> </entry> </pre>

	エラー内容	正しい記録	誤り事例
事例 12	observation 要素内の classCode 及び moodCode 属性名が誤っている。また、negationInd の属性値が空白。	<code><observation classCode="OBS" moodCode="EVN"></code>	<code><observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd=""></code> <code><observation classCode="OBS" moodeCode="EVN"></code>
事例 13	assignedAuthor 要素内の id 要素の記録方法に誤りがある。	<code><assignedAuthor></code> <code><id nullFlavor="NI" /></code> <code></assignedAuthor></code>	<code><assignedAuthor></code> <code><id code="6" /></code> <code></assignedAuthor></code>
事例 14	健診項目が記録されていない entry 要素が存在する	記録は不要	<code><entry /></code>
事例 15	検査結果値、検査結果表示名、XML データ型の記録漏れ	<code><entry></code> <code><!--生活習慣の改善--></code> <code><observation classCode="OBS" moodCode="EVN"></code> <code><code code="9N801000000000011" displayName="生活習慣の改善" /></code> <code><value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.2007" /></code> <code></observation></code> <code></entry></code>	<code><entry></code> <code><!--生活習慣の改善--></code> <code><observation classCode="OBS" moodCode="EVN"></code> <code><code code="9N801000000000011" displayName="生活習慣の改善" /></code> <code><value xsi:type="CD" code="" codeSystem="1.2.392.200119.6.2007" /></code> <code></observation></code> <code></entry></code>
事例 16	検査方法コードに値なし	例 1) 各検査方法に応じたコードを記録 <code><methodCode code="9N01610000" /></code>	methodCode の値が設定されていない。 <code><methodCode code="" /></code>
		例 2) 記録なし（未実施や一連検査グループの場合）	
事例 17	interpretationCode と methodCode の順序誤り	methodCode は interpretationCode の次に記録する <code><entry></code> <code><observation classCode="OBS" moodCode="EVN"></code> <code><code code="3D010000001927201" /></code> <code><value xsi:type="PQ" value="100" unit="mg/dL" /></code> <code><interpretationCode code="N" /></code> <code><methodCode code="3D01030000" codeSystem="1.2.392.200119.6.1007" /></code> <code><referenceRange></code>	記録順番が逆となっている。 <code><entry></code> <code><observation classCode="OBS" moodCode="EVN"></code> <code><code code="3D010000001927201" /></code> <code><value xsi:type="PQ" value="100" unit="mg/dL" /></code> <code><methodCode code="3D01030000" codeSystem="1.2.392.200119.6.1007" /></code> <code><interpretationCode code="N" /></code> <code><referenceRange></code>

	エラー内容	正しい記録	誤り事例
事例 18	performer タグの構成誤り	performer タグは effectiveTime と同じ階層のタグ <pre><code code="990" codeSystem="1.2.392.200119.6.1002" /> <effectiveTime value="20080728"/> <performer typeCode="PRF"></pre>	performer タグが effectiveTime の子要素として記録されている。 <pre><code code="990" codeSystem="1.2.392.200119.6.1002" /> <effectiveTime value="20080728"> <performer typeCode="PRF" /> </effectiveTime> </performer></pre> typecode の c が小文字となっている。 <pre><performer typecode="PRF" /></pre>
事例 19	XML ヘッダ情報の記録誤り (交換用基本情報ファイル)	<pre><?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?> <annualIndex xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html/XSD/aix08_V08.xsd"></pre> 「 」と「.」の間に半角スペースが入ります。	スキーマファイルのフォルダ“XSD”及びファイル名の“V”が小文字になっている。 <pre>../xsd/aix08_v08.xsd</pre> スキーマファイルのパスの指定の間のスペース（空白）が漏れている。 <pre>xsi:schemaLocation=" https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html/XSD/aix08_V08.xsd"</pre> スキーマロケーションの l が小文字になっている。 <pre>xsi:schemaolocation</pre>